

TATEBAYASHISHINKIN BANK REPORT

2020

令和2年度上期館林信用金庫の現況
(令和2年9月末)



 たてしん

館林信用金庫と地域社会

～ 地元とともに～

令和2年9月末現在

1 たてしんの経営理念・行動指針

■経営理念

1. たてしんは、金融サービスを通じて、地域経済の発展に貢献します。
2. たてしんは、お客さまの満足と感動のために活動し、共に未来を築きます。
3. たてしんは、地域社会の一員として、社会における役割を積極的に果たします。
4. たてしんは、堅実経営に徹し、働きがいのある職場づくりに努めます。

■行動指針

1. 私たちは、地域経済繁栄の担い手として、金融仲介機能の発揮、価値ある金融サービスの提供により、企業の振興と地域の活性化、豊かな生活づくりに貢献していきます。
2. 私たちは、お客さまの満足と感動を第一に、何をすればよいのか、何が最良なのかを創意工夫し、地域の発展を目指していきます。
3. 私たちは、地域社会の一員としての責任を自覚し、あらゆる法令やルール、社会的規範を遵守し、誠実かつ公正に日々の業務に取り組み、社会における役割を積極的に果たしていきます。
4. 私たちは、健全な金融機関として、より強固な経営基盤の構築に努めると共に、役職員の幸せと、活気に満ちた働きがいのある職場を作っていきます。

2 当金庫の事業地域と地域経済活性化への取り組み

当金庫は、群馬県館林市、太田市、桐生市（旧新里村、黒保根村を除く）、邑楽郡、栃木県佐野市（旧田沼町、葛生町を除く）、足利市、栃木市（旧栃木市、大平町、都賀町を除く）及び加須市（旧加須市、騎西町、大利根町を除く）を事業地域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組むために、当金庫営業エリアにある各自治体等（館林市・邑楽町・明和町・板倉町・商工会議所・商工会）と地域活性化に向けた包括連携協定を締結しました。

3 預金積金に関する事項（地域からの資金調達の状況）

当金庫では、地域のお客さまの資金づくりのお手伝いをさせていただくため、ライフサイクルに合わせた新商品の開発やサービスの充実に向けて努めております。

当金庫で取り扱っている商品については、2020年版ディスクロージャー誌の12ページをご覧ください。

預金積金残高 133,085百万円

4 貸出金（運用）に関する事項（地域への資金供給の状況）

お客さまからお預かりしました預金積金は、お客さまのさまざまなニーズに応え、地域経済の活性化に資するため、貸出金とおとして地域社会に還元しております。貸出金は、設備資金として388億円、運転資金として324億円を融資しております。うち、個人のお客さまには住宅資金として105億円、消費者ローン等に18億円を融資しております。

当金庫で取り扱っている商品については、2020年版ディスクロージャー誌の13ページ・17ページをご覧ください。

貸出金残高 71,206百万円 預金に占める貸出金の割合 53.5%

5 貸出金以外の運用に関する事項

余資運用残高は前年同期比2,721百万円の増加となりました。うち、有価証券は35,371百万円で前年同期比742百万円増、率では2.14%増、様々なリスク等を考慮した慎重な運用を行いました。預け金（無利息を除く）については31,932百万円で前年同期比1,978百万円増、率では6.60%の増となりました。

余資運用残高 67,304百万円 ※余資とは有価証券、預け金のことです。

6 今期決算に関する事項

前年同期比で預金積金は3.77%増加し、貸出金も1.83%増加しました。損益状況においては、経常収益は資金運用収益、役務取引等収益などは減少しましたが、償却債権取立益、国債等債券売却益の増加により、前年同期比47百万円増加、経常費用は人件費及び物件費などは減少しましたが、個別貸倒引当金、国債等債券売却損の増加により前年同期比144百万円増加し、経常利益は120百万円、業務純益は150百万円、当期純利益は75百万円となりました。

7 社会的責任と地域貢献活動の取組

1) 献血と寄付金の負担

毎年6月15日の「信用金庫の日」にちなみ、6月から8月に掛けて多くの職員が献血を実施しております。また、募金活動も「信用金庫の日」と年末のNHK歳末助け合い募金に、それぞれ全役職員協力参加しております。

2) 夏祭りへの参加

館林市および近隣各町で開催される夏祭りに当該地区店舗の役職員が参加しています。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止となりました。

3) AEDの設置

お客様や近隣の方々が心筋梗塞等発病により心肺停止状態になった場合、応急処置がほどこせるよう、館林市役所出張所、板倉ニュータウン出張所を除き全店にAEDを設置しております。各設置店においては、万が一に備え定期的にAEDの取扱い訓練を行っています。

8 取引先への支援・つながり、トピックス

1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

平成25年度中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業に係る「地域プラットフォーム」に登録し、「群馬県中小企業支援プラットフォーム」に参加、関係情報の収集を行い、営業店に還元し、支援となるよう努めています。

平成26年度に発足した「たてばやし創業応援ネットワーク」の構成団体の一員として、毎年開催されている「創業なんでも相談会in館林」に職員を派遣し、創業予定者・希望者に対する相談・支援を行っていますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止となりました。

平成26年9月に創業を支援するため「たてしん創業支援資金」を新設しました。また、平成30年12月より日本政策金融公庫との協調融資商品「たてしん創業支援融資プラス」の取り扱いを開始し、創業者を支援する取り組みを行っています。

(2) 経営改善支援

経営革新等支援機関認定制度が創設され、当金庫は平成24年12月21日付で認定を受け、地域金融機関として今まで以上に取引先企業の経営改善等に鋭意努力しています。本年度は、支援先として14先を選定しました。経営相談室と営業店が支援14の全先へ同行訪問し、コンサルティング機能の発揮、協働してソリューションの実施を支援しております。

(3) 事業再生支援

取引先の事業再生のため、融資返済条件変更等の支援の他、平成24年10月19日、群馬県中小企業診断士協会と業務提携し、必要とする顧客企業に対し、個社別に専門家の派遣を実施、また、必要に応じて中小企業再生支援協議会等と協力した事業再生支援を実施しています。

(4) 事業承継支援

取引先への事業承継に関するアンケート結果に基づき、個別にヒアリングを実施して事業承継の課題解決に取り組んでいます。また、当金庫・館林市・館林商工会議所の三者による「館林事業承継ネットワーク」を構築しており、専門家による講演会・個別相談会開催等、官民一体での事業承継支援も推進しております。更に、第三者承継と言われているM&A仲介業務については、群馬県事業継ぎ支援センターや当金庫と協定書の締結を行いました信金キャピタル、(株)トランビの仲介による支援を行っており、取引先の課題に合った支援方法を選択し積極的に取り組んでいます。また、事業承継者未定先への伴走的支援のための「共通課題シート」を作成し、経営者の状況に合わせた支援活動を行っています。

(5) ビジネスマッチング

昨年度は、館林信用金庫・桐生信用金庫・アイオー信用金庫・館林市・太田市・桐生市・桐生商工会議所の共催によりビジネスマッチングフェアを開催しましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止させていただきました。

しかし、当金庫内での個別のビジネスマッチングは積極的に推進しており、令和2年度上期で情報収集45件、成約2件、商談中3件の実績でした。今後も取引先のビジネスパートナーとして、お客様の本業支援に繋がる営業体制を強化していきます。

2) たてしんビジネスクラブの活動

経営者の異業種交流を図る場として講演会や企業見学会等を行い会員相互の発展と交流のお手伝いを行っております。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、講演会や企業見学会等の企画を中止させていただいております。

3) たてしん会の活動

会員相互の親睦を図り、会員各位の企業の発展と館林周辺地域の産業経済の発展を図る事を目的としております。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、ゴルフコンペや旅行等の企画を中止させていただいております。

4) 年金・ローン相談会の開催

年間を通し毎月一回各営業店にて、年金裁定請求のお手伝いや加入記録、受給見込額の調査等の年金に関する相談会を行っています。また、住宅ローンをはじめとしたローン全般の相談会も同時に開催しております。(本店営業部と板倉支店は日曜日、その他の店舗は平日に開催)

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月、6月の開催を中止させていただきましたが、消毒等徹底しながら7月より通常通り開催しております。

5) たてしん年金友の会の活動

当金庫に年金振込指定して頂いているお客様への感謝と、お客様相互の親睦を図ることを目的に、「たてしん年金友の会」バス旅行を毎年企画しております。

本年度は新型コロナウイルス感染症を考慮し、バス旅行の企画を中止させていただきました。

預金積金・貸出金残高

(単位:百万円)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
預金積金	128,243	126,913	133,085
貸出金	69,922	69,755	71,206
預貸率	54.52%	54.96%	53.50%

業種別貸出金残高

(単位:百万円)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
製造業	9,526	9,539	10,504
農業、林業	143	147	141
漁業	—	—	—
鉱業、碎石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	4,056	4,577	5,437
電気・ガス・熱供給・水道業	1,692	1,699	1,585
情報通信業	2	2	2
運輸業、郵便業	2,680	2,522	2,534
卸売業・小売業	4,640	4,716	5,266
金融業、保険業	4,453	4,427	4,532
不動産業	10,869	9,539	9,244
物品賃貸業	500	500	500
学術研究、専門・技術サービス業	104	96	108
宿泊業	457	433	409
飲食業	664	712	736
生活関連サービス業、娯楽業	1,866	1,813	1,871
教育、学習支援業	262	254	246
医療・福祉	4,132	3,988	4,158
その他のサービス	1,992	2,461	3,102
小計	48,046	47,253	50,383
地方公共団体	9,155	9,666	8,417
個人（住宅・消費・納税等）	12,720	12,835	12,405
合計	69,922	69,755	71,206

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。なお、日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末より改定後の日本標準産業分類に準じて区分しています。

損益の状況

(単位:百万円)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
業務純益	174	223	150
実質業務純益	174	223	150
コア業務純益	161	209	174
コア業務純益（投信解約損益を除く）	161	209	170
経常利益	216	247	120
当期純利益	201	241	75

金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

(単位:百万円)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	646	511	484
危険債権	3,000	2,427	2,603
要管理債権	299	109	112
正常債権	66,162	66,957	68,245
合計	70,108	70,005	71,445

(注) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権は破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。危険債権は債務者が経営破綻に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。要管理債権は3か月以上の延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する貸出金です。正常債権は債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権です。

不良債権比率

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
不良債権比率	5.62%	4.35%	4.47%

自己資本の構成

(単位:百万円)

バーゼルⅢ国内基準	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	7,956	7,985	8,062
コア資本に係る調整項目の額 (B)	74	40	67
自己資本の額【(A) - (B)】 (C)	7,881	7,944	7,995
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	73,816	74,757	74,589
自己資本比率 (C) / (D)	10.68%	10.62%	10.71%

自己資本比率は、経営の健全性・安全性を示す重要な指標の一つで、リスク（損失）が発生する可能性のある資産総額（リスク・アセット等）に対し、出資金や利益剰余金などの自己資本額が占める割合を示しています。国内で業務を行っている信用金庫には、4%以上の自己資本比率が求められています。

(注)「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」（平成18年金融庁告示第21号）が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日より改正後の告示が適用されたことから、新告示（バーゼルⅢ国内基準）に基づく開示を行っております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	令和2年3月末				令和2年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	31,554	395	708	313	32,266	409	726	316
株式	70	6	20	14	60	-3	14	18
債券	27,382	395	532	137	28,106	274	516	242
その他	4,101	-7	154	161	4,099	138	195	56

(注) その他有価証券で時価のあるものを記載しております。「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の有価証券です。

(単位:百万円)

	令和2年3月末				令和2年9月末			
	帳簿価格	含み損益			帳簿価格	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,699	-208	1	209	3,099	-77	7	85
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 満期保有目的の債券は、外国証券です。

館林信用金庫

館林市本町一丁目6番32号

TEL 0276 - 72 - 5511

FAX 0276 - 74 - 4897

<http://www.shinkin.co.jp/tateshin/>

常勤役職員数 135人

店舗数 10店

会員数 12,412名

出資金残高 207百万円



■店舗一覧及びATM設置状況等(令和2年9月末現在)

台数	店舗	住所	ATM稼働時間	電 話
2	本店(本部・営業部)	館林市本町一丁目6番32号	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-72-5511(代)
2	南支店	館林市本町四丁目7番20号	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-72-4715(代)
1	大泉支店	邑楽郡大泉町富士二丁目5番12号	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-62-5144(代)
1	西支店	館林市富士見町8番1号	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-74-4100(代)
1	板倉支店	邑楽郡板倉町大字岩田913番地	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-82-2321(代)
①	本店営業部 館林市役所出張所	館林市城町1番1号	平 日 8:45~18:00	0276-74-9211(代)
1	邑楽町支店	邑楽郡邑楽町大字中野3163番地1	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-88-7511(代)
1	本店営業部 北出張所	館林市瀬戸谷町2286番地3	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-75-2552(代)
1	明和支店	邑楽郡明和町大佐貫182番地の5	平 日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-84-4111(代)
①	板倉支店 板倉ニュータウン出張所	邑楽郡板倉町朝日野一丁目14番地の1	平 日 9:00~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-82-2321(代) (板倉支店)
①	アゼリアモール出張所	館林市楠町3648番地1	平 日 9:00~20:00 土・日・祝	0276-72-5511(代) (本店)

※ATM13台うち店外ATM3台(○印)